

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2023 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップエリアは第2 コーナーから第3 コーナーまでとする。
- (2) ウォーミングアップを行う際は、審判、役員 の指示に従うこと。
- (3) ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は 100m スタート付近（競技場レイアウト参照）に設置する。
- (2) 代理人による点呼は認めない。但し種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる場合は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (3) 招集開始時刻、招集完了時刻は下記のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
男女ハンマー投	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
上記以外のフィールド種目	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

*ハンマー投競技は、7月2日（日）大井競技場にて実施する。

- (4) 棒高跳びは招集を現地で行い、競技開始 50 分前に打ち切りとする。
- (5) リレーに出場するチームは、各ラウンドの 1 組目の招集完了 60 分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係主任に届け出ること（オーダー用紙はプログラムに掲載してある）。

4 アスリートビブスについて

- (1) 3000m以上の個人種目（3000mSC を含む）では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。
- (2) サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400mリレーの 4 走者、1600mリレーの 2～4 走

者において両側の腰につけること（インサイドカメラ使用のため）。サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。

5 番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 1年生種目において、200mまでのトラック種目の決勝に時間により進出する最後の1枠に同成績がいる場合は、0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、抽選を行う。
- (3) 抽選は同成績者または代理人によって行われる。アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。

6 競技について

(1) トラック競技について

- ① Setの合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある【競技規則 TR16.5.1-3】。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ② リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする【競技規則 TR5.1】。ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ③ 男子3000mWはスタートから18分、女子3000mWはスタートから20分で次の周回には入れないものとする。

(2) フィールド競技について

- ① 男女走幅跳、男女三段跳はA・Bピットに分かれて行い、競技終了まで割り当てられたピットは変更しない。上位8名による4回目以降も同様に2ピットで行う。
- ② 三段跳の踏切版は、砂場から男子は12m地点、女子は9m地点に設置する。
- ③ 砲丸投・ハンマー投について
最初の有効試技は全員計測する。それ以降は、記録が更新されたものだけ計測する。2番目の記録による順位決定は行わず、同順位とする。

7 競技用具について

競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するのは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させねばならない。

8 走高跳・棒高跳について

①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種目	練習	バーのあげ方
男子走高跳	1m70・1m85	1m75・1m80・1m85・1m90・1m95 以降3cmずつ
女子走高跳	1m40・1m55	1m45・1m50・1m55・1m60 以降3cmずつ
男子棒高跳	3m20・3m40・4m00	3m40・3m60・3m80・4m00・4m10 以後10cm 4m60 以降5cmずつ
女子棒高跳	2m00・2m50・3m00	2m20・2m40・2m60・2m70 以後10cmずつ

②男女走高跳は、A・Bの2ピットで行う。

9 競技用シューズについて

- (1) 800m未満のトラック種目は靴底の最大の厚さは20mm、800m以上は最大25mmとする。リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適応する。フィールド競技は三段跳を除いて最大20mm、三段跳は最大25mmとする【競技規則 TR5.2】。
- (2) 必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することがある。
- (3) その他詳細、WA承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照すること。
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目結果発表は、大型映像装置及びアナウンスで行う。掲示板による発表は行わない。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合は発表後15分以内、それ以外の場合は発表後30分以内に、競技者もしくは顧問が審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。この裁定に納得がいかない場合は、預託金(10,000円)を添えて、総務を通してジュリーに「上訴申立書」で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる【競技規則 TR8】。「上訴申立書」は総務に用意する。

11 助力について

- (1) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.3.2】。
- (2) スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像確認は認めない。

12 入賞について

- (1) 1年生種目については1位～8位までを表彰し、男女各1名の優秀選手を表彰する。
- (2) 選抜大会については1位～8位までに表彰状を授与し、男女各1名の優秀選手を表彰する。

13 応援について

- (1) 声を出しての応援は認めるが、スタート時の応援は慎むこと。
- (2) 集団応援はメインスタンドを除く、スタンド上部で行うこと。
- (3) ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしないこと。

14 その他

- (1) 本大会は特別国民体育大会東京都予選会を兼ねる。
- (2) ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は指定された区域の清掃を行うこと。7月8日(土)は第1,2,3支部の学校、責任者は各支部長。7月9日(日)は第4,5,6支部の学校、責任者は各支部長。
- (3) 競技場内通路(ダッグアウト)にシートを敷いたりして場所を占有してはならない。
- (4) 閉会式は行わない。
- (5) その他不明の点は大会総務まで照会下さい。
- (6) 本大会中、第76回全国高校総合体育大会の壮行会を行う。なお、出場者は名簿参照のこと。
- (7) 今年度の全国高校総体は北海道で行われます。出場選手にご声援を。